

【施設状況】

グループ名称	地域活動支援センターこがし								
指定管理者名	社会福祉法人長野県社会福祉事業団					法人番号	1100005001692		
所管課	主	102000	障害福祉課	副					
構成施設	5695	地域活動支援センターこがし							
施設分類	05	保健福祉・医療型		施設利用者圏域	01	地域施設	利用制適用区分	01	代行制
施設概要	作業室(2)、事務室、男子トイレ(洋式1・和式1)、女子トイレ(洋式1・和式1)								
施設設置目的	障がいのある人が地域において自立した日常生活、社会生活を営むことができるよう、施設において創作活動、生産活動の機会の提供を行うとともに、社会との交流の促進を図ることを目的とする。								
基本方針等	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者である障がい者、またその家族の意思及び人格を尊重して、常に利用者等の立場に立ったサービスの提供に努める。 ・地域及び家庭との結び付きを重視した運営を行い、市、障害福祉サービス事業を行う者、その他の保健医療サービス又は福祉サービスを提供する者等との連携に努めるとともに、指定管理者の創意工夫に基づいた管理運営により、質の高いサービスを利用者に提供していく。 								
主な実施事業	・地域活動支援センター事業								

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	<ul style="list-style-type: none"> ・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	<ul style="list-style-type: none"> ・協定、事業計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	社会福祉法人長野県社会福祉事業団			当該指定管理者の指定回数	3 回
指定期間	令和4年4月1日	～	令和9年3月31日	5年	当該指定管理者の管理運営開始日 平成24年4月1日
指定管理者の健全性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。				評価 3
	特記事項 (問題等があった場合に、その内容等を記入)				

2 施設の有効活用

施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)	利用区分等	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	対前年比	評価
	利用者数	人/年	1,833	1,778	1,514	1,453	96%	
(特記事項) 利用定員 15人 登録人数(R6.3.31)12人 *利用者数(人/日 6.1人) *登録者12人の内、1人は利用なし、2人は年数回の利用のみ。 令和5年4月、介護保険(デイサービス)移行に伴い2名減員。その後、2名増員となったが、週1、2回の利用に留まったため1日当たりの利用者数増には繋がらなかった。								
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案		追加事業、未実施事業及び未実施の理由				
	市指定事業	・支援法第77条第1項第9号に規定する地域活動支援センターの実施に関する業務 ・施設及び設備の維持管理に関する業務						
自主事業	・創作活動 ・グループ活動(少人数での運動等グループワーク) ・レクリエーション活動 ・余暇活動							
サービス維持・向上の取組み(広報等)	・長野市北部障害者相談支援センター及び民生委員・児童委員等と連携し、地域の障害者(課題ケース)を当施設利用に繋げるとともに、障害福祉サービスの利用に向けた調整を行った。 ・利用者について介護支援専門員や相談支援専門員と定期的に調整会議を設け、支援方法等について検討した。 ・「こぶしだより」を年3回発行して関係機関に配布し、新規利用者確保に繋がるよう情報提供した。 ・雨天や降雪時に利用者の送迎代行した。(常時対応ではなく、個々の必要性を見極めた上での対応) ・「とよの秋まつり」に利用者が創作した作品(塗り絵等)を展示して、市民に当所への理解を深めていただいた。							

3

3 利用者評価

利用者評価	区分	内容		評価
	利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法	利用者アンケート	
(2) 調査、会議等の内容		・連絡帳を活用し、保護者及び施設の職員と本人とで日々の要望や意見の把握に努めている。 ・満足度調査を実施したが、母数が小さい(9人)ため参考程度に留め利用者一人一人と面談して直接話を聞いている。		
利用者からの評価・苦情等	(3) 調査、会議等の結果	1. 日中活動について (1) 作業について: とても満足4人 まあ満足5人 どちらともいえない0人 不満0人 (2) 文化的活動について: 興味を持って取り組めた15人 興味が持てなかった0人 難しかった1人 分からない(不参加)8人...カラオケ教室、調理活動、ミュージカル鑑賞など数種類の活動を集計した数値(延べ人数) (3) お楽しみ会・外食について: とても楽しかった7~8人 楽しかった0~1人 ふつう1人 つまらなかった0人 分からない(不参加)0人 (4) 運動・軽スポーツについて: とても楽しかった5人 楽しかった2人 ふつう1人 つまらなかった0人 分からない(不参加)1人 2. 支援について (1) 支援員の対応: とても満足5人 まあ満足4人 どちらとも言えない0人 不満0人 (2) 支援員への質問・相談: できる5人 まあできる1人 どちらとも言えない2人 できない0人 説明の仕方: とても分かり易い4人 分かり易い3人 時々分かりにくい2人 分かりにくい0人 (3) 連絡帳等での発信: とても良く分かる6人 良く分かる3人 あまり分からない0人 分からない0 3. こぶしの利用について: 通いたい9人 分からない0人		
	(1) 良好とする評価	1(1) ボルトの作業が楽しいので90歳までやりたい。 (2) 「歌の教室」がとてもよかった。・自分たちで作った餃子はとても美味しかった。・「ミュージカル」は珍しいものが見れてとても良かった。 (3) ドライブがとても楽しかった。・色々なところ(場所・店)に行けてよかった。・たくさん食べれた、美味しかった、好きなものが食べられた、回転寿司に久しぶりに行けた等、外食が高評価だった。 (4) これからも続けてほしい。・普段あまり運動をしないので疲れたが気持ちよかった。 (1) とてもよくしてもらっている。・事情を理解して対応してもらっている。・荒天時の送迎が助かる。 (2) 話を聞いたり相談に乗ってくれる。・分かるまで説明してくれる。・図を描いたり見本を見せてくれる。 (3) 様子がよく分かり、連絡帳を元に家庭でも会話が増える。・こぶしの様子をよく話してくれる。・「こぶしだより」を楽しみにしている。		
(2) 苦情・改善等の要望事項	1(1) 作業をたくさんやりたい。ボルトの納品に週2回行きたい。細かい作業が苦手だ。(2) 包丁で指を切った。(3) ボウリング場にもう1回くらい行きたい。(4) よく覚えていない。 2(2) 相談しようと思ったことが無い。・自分の理解力がないのかも。			
「対応措置」	1(1) 作業量や納品の回数は取引先が決めることなのでその旨を説明し、理解を得た。・作業工程を細分化して得意な部分を任せられるよう工夫した。(2) 他の仕事をしている時にも怪我が多い方なので、道具を使う時は慎重に行うようその都度声掛けしている。(3) 来年度は回数を増やして年3回行計画を立てた。(4) 記憶が新鮮なうちにアンケートを取るようになる。 2(2) 理解しやすいよう視覚的支援や分かりやすい平易な言葉で伝えるようにした。			

3

4 事業収支

事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(令和5年度)				市の収支				評価
	年度計画額		収支実績額		令和5年度決算		令和4年度決算(前年度)		
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額	
収入	利用料金		利用料金		使用料		使用料		歳入
	指定管理料	9,100,000	指定管理料	9,100,000	雑(納付金)		雑(納付金)		
収入	委託料		委託料		行政財産目的外使用料		行政財産目的外使用料		歳入
	販売収入等	360,000	販売収入等	443,250	貸付料		貸付料		
収入	その他収入		その他収入		その他		その他		歳入
				28,102					
	計	9,460,000	計	9,650,552	計	0	計	0	
支出	人件費	7,537,000	人件費	7,795,460	指定管理料	9,100,000	指定管理料	9,100,000	歳出
	設備管理費		設備管理費		委託料		委託料		
支出	備品購入費		備品購入費		需用費	175,880	需用費	190,170	歳出
	修繕費	155,000	修繕費	126,800	役務費		役務費		
支出	光熱水費		光熱水費		使用料・賃借料		使用料・賃借料		歳出
	事業費	468,000	事業費	445,399	修繕費		修繕費		
支出	事務経費	704,000	事務経費	603,643	工事請負費		工事請負費		歳出
	本社経費	236,000	本社経費	236,000	備品購入費	55,440	備品購入費		
支出	その他		その他		その他		その他		歳出
		360,000		443,250				45,786	
	計	9,460,000	計	9,650,552	計	9,331,320	計	9,335,956	
自主事業	収入		収入	193,891					
自主事業	支出		支出	193,891					
自主事業	自主事業損益	0	自主事業損益	0					
損益		0		0	差引	-9,331,320		-9,335,956	
人件費比率【人件費(賃金等)／令和5年度指定管理者事業支出】(支出に占める人件費の割合)									80.8%
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由									

5 管理運営全般 ※すべて で、「3」、「4」、「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	配置実績 (うち市内雇用職員数)		
	所長(非常勤)1人(0)、 経理担当(非常勤)1人(1)、指導員(常勤)2人(2)・(非常勤)1人(1) ※指導員は、男性1名・女性2名 トイレ介助等の為、現在の3名体制を維持		
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
平等利用	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか		
経理	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか		
施設・備品の維持管理	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか		
セルフモニタリング等	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 備品はⅠ種、Ⅱ種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか		
セルフモニタリング等	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか		

区分	確認内容	チェック欄	評価	
危機管理体制	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか	☑	3	
	2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか			
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか			
	個人情報保護 1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか	☑		
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか		☑
		2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
	緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか		☑
		2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか		

7 地域連携

地域連携	評価	
地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。	3	
協定内容・指定管理者提案		追加された内容、未実施の内容及びその理由
<ul style="list-style-type: none"> 利用者の弁当は市内障害者就労施設(同一法人内)、おやつや事務用品等の購入物品は市内業者にて調達 「とよの秋まつり」に利用者の作品展示の形で参加 		(追加)「とよの秋まつり」の展示に「こぶし開所20周年」の展示も併せて実施した。

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価
指定管理者の健全性	3	6	<p>総合評価</p> <p>指定管理者の健全性</p> <p>施設の有効活用</p> <p>利用者評価</p> <p>事業収支</p> <p>管理運営全般</p> <p>危機管理体制</p> <p>地域連携</p> <p>合計得点</p> <p>60</p> <p>----- 基準値</p>
施設の有効活用	3	6	
利用者評価	3	12	
事業収支	3	6	
管理運営全般	3	12	
危機管理体制	3	12	
地域連携	3	6	

評価理由

・同一法人で複数の施設を所有していることから、他施設とも情報共有し、利用者の思いや要望を聞き取りをして運営をおこなっていた。
 ・新型コロナウイルス完成症の5類感染症移行に伴い、レクリエーション活動や余暇活動の幅が広がり、登録者の満足度をたかめる工夫をしていた。
 ・上記対応により利用者数の減少率を改善が見られた。

取組み・改善案等 (施設所管課)

前年度からの課題	改善状況	改善案等(改善されていない場合)
登録者の高齢化等が原因で、登録人数及び利用者数減が続いている。	・長野市北部障害者相談支援センター及び民生委員・児童委員等と連携し、2名の新規利用に繋げた。昨年度と比べ利用者数の減少率を改善(R4年度:対前年比85%、R5年度:対前年比96%)することができた。	

次年度の目標・取組み等 (施設所管課)

・利用者が高齢化が進み高齢者福祉サービスへ移行したり健康的な理由で利用停止となる人が毎年一定数出てくるため、新たな利用者の掘り起こしが引き続き課題となる。
 ・ふくしネットかつどう部会の地域活動支援センター連絡会の場で、利用者増加に向けた取組みや、各センターでの課題等の共有にあたり、多くの障害福祉サービスを実施している法人が運営する施設として、これまでと同様、積極的に意見していただくことを期待する。

指定管理者自己評価			
<p>(1) 今年度の取組みに対する評価</p> <p>① サービス向上に向けての取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢利用者が多いので利用者が取り組みやすいようゆったりした日課とした。利用者の健康に留意し、毎日15分の運動の時間を設け、受託作業は靴下作業を主に行った。毎月1回はレクリエーションスポーツを実施し、各種競技(ボッチャ等)に挑戦した。 ・新型コロナウイルス完成症の5類感染症移行に伴い、お楽しみ外出企画を隔月で実施し、近隣へ飲食を伴うドライブ外出を実施。利用者からは好評であった。(お花見、紅葉狩り等) ・外部講師による「カラオケ教室」を計5回実施、講師から指導を受けながら皆で歌い、楽しい時間を過ごすことができた。 ・活動中に利用者が創作した作品(塗り絵等)を豊野町の「とよの秋まつり」に展示することができた。 <p>② 業務の効率化に対する取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員の勤務について利用者支援を第一とし、事務作業については職員間で調整して時間の効率化に努めた。 <p>③ その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長野市北部障害者相談支援センター及び民生委員・児童委員等と連携し、2名の新規利用に繋げた。 			
<p>(2) 指定管理者業務実施上の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢化等の理由で退所する利用者が毎年数名おり、登録者数が定員を下回る年が続いている。そのため昨年度に引き続き、新規利用希望者の開拓に向けて広報誌(「みのちグループだより」「こぶしたより」)、回覧板、学校関係者への声掛け等、地域に向けて情報発信を行った結果、年度途中で2名増員となったが、いずれも週1、2回の利用に留まった。 ・現利用者は在宅で精神障害を持たれている方が多く、全く利用がなかったり、年数回しか利用されないことから利用実績が上がらない状況である。また、高齢化による介護サービスへの移行も増えている。 ・長野市主導で豊野老人福祉センターの耐震化工事の事前調査が実施された。調査の結果、同工事は見送りとなり、当施設の二階から一階への活動場所の移転等は見送りとなった。利用者の9割近くが高齢者であり、そのうちの半数以上が後期高齢者である。職員の介助なしで階段の登り下りができる利用者は2~3名しかいないため、基本的に利用者はエレベーターを利用している。災害時などにエレベーターが利用できなくなってしまった際、当施設の職員数では避難誘導等の対応に限界があるため、二階から一階への活動場所の移転は急務である。 ・現在車椅子の利用者はいないが、当施設ある二階のトイレは洋式トイレと和式トイレしかないため、車椅子の利用者を受け入れることになった際は、エレベーターで降り、1階の多目的トイレを利用しなければならない。また、車椅子を利用する程ではないが、足腰が悪い利用者は複数おり、洋式トイレが空いていない際は、1階まで降りて洋式トイレを利用している状況である。(一階は多目的トイレ以外は洋式トイレ) 			
<p>(3) 総合評価</p>	<p>評価基準 【A】計画や目標を大きく上回る 【B】計画や目標を上回る 【C】計画や目標どおり 【D】計画や目標を下回る 【E】計画や目標を大きく下回る</p>	<p>指定管理者 自己総合評価</p>	<p>C</p>
<p>① 評価理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス完成症の5類感染症移行に伴って外出や各種教室等の行事をコロナ禍前と同様に計画し、予定通りに実施できた。 ・新型コロナウイルス完成症の感染対策を徹底し、利用者・職員ともにコロナに感染する者はいなかった。 <p>② 次年度以降の取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見学、体験希望者の受け入れ等について、長野市北部障害者相談支援センター等の関係機関と連携し、これまで以上に積極的に進めていく。 ・R6年度はR8年度までの指定管理の中間年度となることから、現状を踏まえて次期指定管理に向けた検討を長野市と始める。(当施設の役割等についての再確認並びに存続や存在意義等についての検討) 			